

大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 25 男子 準決勝

期 日: 2016(H28)年10月29日(土)

主審: 永井 聖太

開始時間: 09:00

副審: 西岡 大輔

終了時間: 10:30

<p>松山工業</p> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <p>124</p>	<p>35 — 18</p> <p>42 — 13</p> <p>24 — 10</p> <p>23 — 17</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>58</p>	<p>松山城南</p> <p>(中予)</p>
--------------------------------	----------------------------	--	---------------------------	--------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	権藤 史也	4	0	2	0	0
5	*	東浦 元樹	22	5	3	1	2
6		早瀬 陽介	13	1	5	0	1
7	*	宮本 尋	11	1	3	2	1
8	*	萩野 一洋	14	0	7	0	0
9	*	佐伯 祐輔	13	3	2	0	0
10		亀岡 拓矢	12	2	3	0	0
11		松尾 優夢	2	0	1	0	1
12		菊池 雄太	0	0	0	0	0
13		仙波 洋人	2	0	1	0	1
14		高橋 聖太	0	0	0	0	2
15		青木龍之介	12	0	6	0	2
16		池内 亮太	6	0	3	0	0
17		曾我部 鈴汰	7	1	2	0	1
18		藤岡 修也	6	0	3	0	1
HC		宮崎 智之 / TEAM					-
		合計	124	13	41	3	12

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	曾我部 悠	23	3	4	6	2
5	*	大崎 諒也	0	0	0	0	1
6		佐伯 雄紀	-	-	-	-	-
7		吉岡 翔大	-	-	-	-	-
8		山下 雄也	-	-	-	-	-
9	*	團上 竜右	4	0	1	2	1
10	*	露口 利孔	26	5	5	1	1
11		松田 海	0	0	0	0	0
12		伊賀上 淳	-	-	-	-	-
13		山田 友希	0	0	0	0	0
14		弓立 晃平	-	-	-	-	-
15		上川 義	-	-	-	-	-
16		芥川 春希	0	0	0	0	0
17		岡崎 幸佑	-	-	-	-	-
18	*	曾我部 響汰	5	1	1	0	0
HC		中原 正善 / TEAM					-
		合計	58	9	11	9	5

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファウル

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。松山工業は巧みなオフェンスでインサイド、アウトサイドのシュートを確実に決め、得点を重ねる。松山城南は#4、#10のアウトサイドシュートで得点するが、松山工業の堅い守りに阻まれ、得点が伸びない。35-18の松山工業リードで第1ピリオドを終了する。

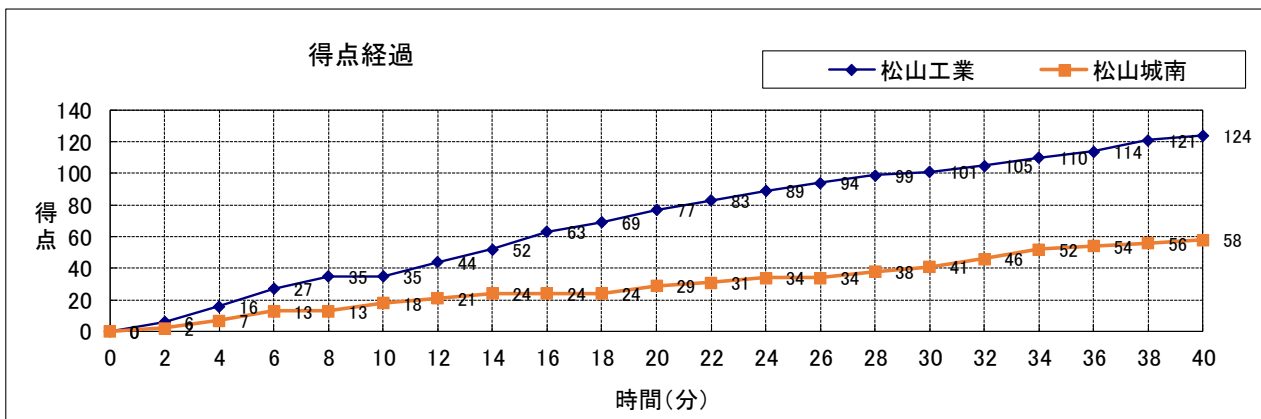
第2ピリオド、松山工業は#5の1対1を起点に得点を重ね、試合の流れをつくる。残り5分松山工業の#5、#9、#4の連続3Pが決まったところで松山城南は2回目のタイムアウト。ディフェンスを変化させて活路を見出そうとするが、松山工業のアウトサイドシュートが次々に決まり、77-29松山工業の大量リードで前半を終了する。

第3ピリオド、松山工業は、メンバーを交代させながら余裕をもって試合を展開する。松山城南は、オールコートディフェンスと#4の果敢な1対1で追い上げようとするが、シュートが決まらない。101-41と松山工業がさらにリードを広げ、第3ピリオドを終了する。

第4ピリオド、意地を見せたい松山城南は、ディフェンスを頑張り、最後まで松山工業に食らいつく。しかし、安定したプレイで全く危なげないゲーム運びを見せた松山工業が、124-58で決勝へと駒を進めた。

担当者: 渡邊 孝平(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会



大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 26 男子 準決勝

期 日: 2016(H28)年10月29日(土)

主審: 岩井 仁志

開始時間: 10:30

副審: 池松 健彦

終了時間: 12:00

新田 (中予)	○ 95	20	—	15	● 67	東温 (中予)
		19	—	13		
		31	—	21		
		25	—	18		
		—	—	—		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	村上 勇斗	13	3	2	0	0
5		毛利 和樹	5	1	1	0	0
6	*	原本 樹	8	0	4	0	2
7	*	岡本 瞬	10	1	3	1	1
8	*	渡部 蒼	14	0	6	2	2
9		岡田 知紘	0	0	0	0	0
10		高野 翔馬	2	0	1	0	3
11	*	平 将輝	30	2	11	2	2
12		春園 秀人	0	0	0	0	0
13		丹下 希	3	0	1	1	0
14		塩田龍之介	3	1	0	0	0
15		中矢 夏樹	0	0	0	0	0
16		岡田 有夢	2	0	1	0	0
17		濱本 康成	0	0	0	0	0
18		高橋 祐也	5	0	2	1	1
HC		玉井 剛 / TEAM					
		合計	95	8	32	7	11

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	入江 直斗	13	2	2	3	1
5	*	福島 秀佑	8	0	4	0	0
6		松岡 空良	7	1	2	0	4
7	*	森 亮太	21	5	2	2	3
8	*	大野 侑介	18	0	8	2	3
9		白石貴香斗	0	0	0	0	0
10		竹内 優成	—	—	—	—	—
11		田中 謙伍	—	—	—	—	—
12		山口 将舞	0	0	0	0	4
13	*	窪添 晃希	0	0	0	0	2
14		山本 伊織	0	0	0	0	0
15		藤山颯太郎	—	—	—	—	—
16		千守 優太	—	—	—	—	—
17		土居 蓮	—	—	—	—	—
18		千代 大成	—	—	—	—	—
HC		對尾 圭三 / TEAM					
		合計	67	8	18	7	17

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファウル

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。東温高校は#4、#7を起点に、新田高校は#11を起点に攻撃する。東温高校は7-11となったところでタイムアウトをとり、#8の得点などで同点とする。その後は、新田高校#4の3P、東温高校#7の1対1などで互いに譲らず、15-20新田高校リードで終了。

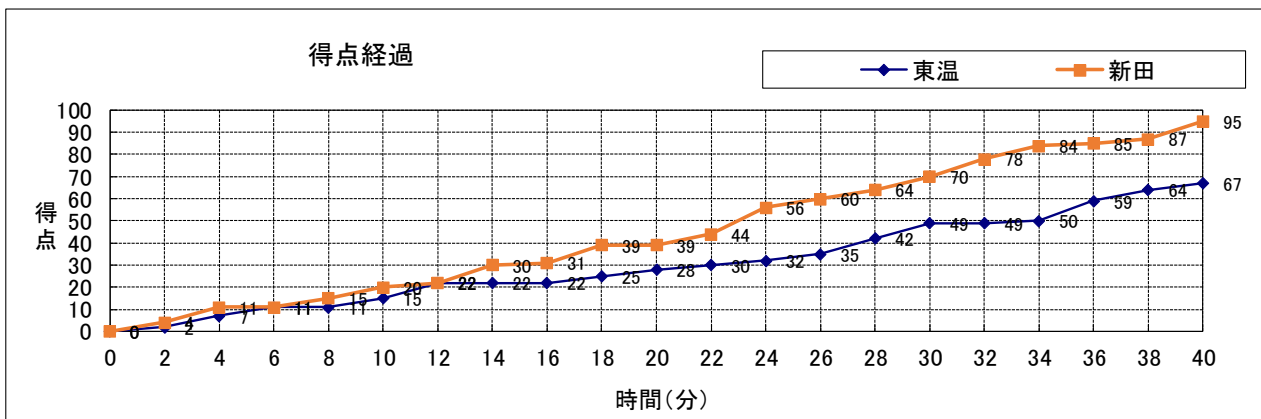
第2ピリオド、東温高校は#4の連続得点などで22-20と逆転する。しかし、新田高校も連続得点し、22-30と再びリードを奪う。流れを引き戻したい東温高校はタイムアウトをとるが、得点することができない。対する新田高校は#11の3Pなどで点差を広げ28-39新田高校リードで前半終了。

第3ピリオド、新田高校は#4、#7の3Pなどで点差を広げ、更に#8、#11のバスケットカウントで突き放す。東温高校は積極的な選手交代で点差を縮めようとするが、49-70と新田高校がリードを広げ終了。

第4ピリオド、新田高校は速攻や#8の3Pなどで連続得点し、開始3分で49-82と大きくリードする。東温高校はタイムアウトをとるが、新田高校#16のバスケットカウントや、多彩なディフェンスにより、主導権を取り戻せない。東温高校はオールコートマンツーマンディフェンスに切り替え、最後まで粘りを見せたが、自力に勝る新田高校が67-95で決勝に駒を進めた。

担当者: 井上 大輔(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会



大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 27 女子 準決勝

期 日: 2016(H28)年10月29日(土)

主審: 上田 孝之

開始時間: 12:00

副審: 前田 周二

終了時間: 13:30

<h1>聖カタリナ学園</h1> <p>(中予)</p>	○ 91	23	—	13	● 52	<h1>済美</h1> <p>(中予)</p>
		19	—	16		
		25	—	8		
		24	—	15		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岩佐 彩花	21	3	6	0	1
5	*	渡部 真衣	0	0	0	0	0
6	*	黒山 佳奈	13	1	4	2	2
7		安藤 母佳	-	-	-	-	-
8		山口 愛未	0	0	0	0	2
9		松本 真綾	-	-	-	-	-
10		小谷 果蓮	15	0	7	1	2
11		矢野 千晶	-	-	-	-	-
12	*	石原 柚香	18	1	7	1	1
13		西山 奈那	0	0	0	0	1
14		谷岡 安純	0	0	0	0	0
15		富永 紗代	0	0	0	0	0
16	*	梅木 千夏	22	2	6	4	0
17		森下 遥奈	-	-	-	-	-
18		鈴置 彩夏	2	0	1	0	1
HC		後藤 良太 / TEAM					-
		合計	91	7	31	8	10

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	石村萌々花	13	0	6	1	2
5		尾屋家光月	-	-	-	-	-
6		松坂 美波	-	-	-	-	-
7	*	能田 采奈	11	0	5	1	3
8		岸 千尋	0	0	0	0	1
9		澤田 侑奈	-	-	-	-	-
10		川原 七星	0	0	0	0	0
11	*	山本三菜美	7	1	2	0	1
12	*	濱田 梨奈	8	0	4	0	3
13	*	濱田 玲奈	11	1	2	4	3
14		中川さくら	2	0	1	0	1
15		藤岡 茉裕	0	0	0	0	1
16		平岡 七海	-	-	-	-	-
17		戸田 温	0	0	0	0	0
18		筒井 愛莉	0	0	0	0	0
HC		中川香一郎 / TEAM					-
		合計	52	2	20	6	15

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。聖カタリナは序盤から厳しいディフェンスでボールを奪い、#4、#12のシュートで得点を重ねる。済美は速いパス回しから#7のドライブイン、#12の1対1で果敢に攻撃する。ピリオド終盤、両チームとも激しいディフェンスを展開し、23-13聖カタリナリードで第1ピリオドを終える。

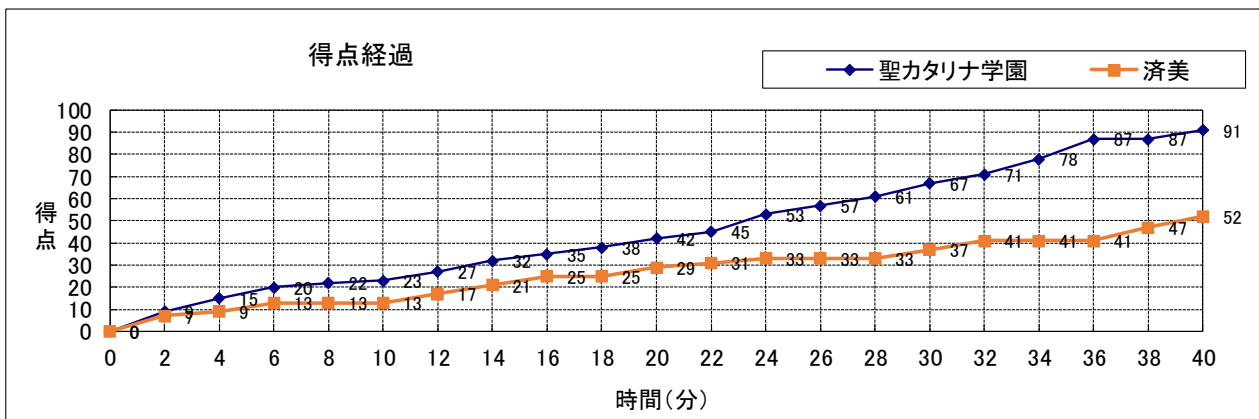
第2ピリオド、済美は#4、#11のシュートで追いつけようとするが、相手のディフェンスをなかなか崩すことができない。対する聖カタリナは速いパス回しから#4、#6が得点を重ねていき、42-29と聖カタリナリードで前半を終える。

第3ピリオド、聖カタリナがボールへのプレッシャーを強め、スティールからの速攻で得点を重ねていき、リードを22点差としたところで済美はたまたまタイムアウトを請求する。その後、済美はゾーンディフェンスに変更し、流れを引き寄せようとするが、聖カタリナは落ち着いたパス回しから確実に得点を挙げていき、聖カタリナが67-37の30点リードで、最終ピリオドへ。

第4ピリオド、済美は大きく開いた点差を縮めようとチーム全員でパスをつなぎ、シュートを打ち続けるが、聖カタリナのディフェンスを崩すことができない。最後まで粘る済美を、落ち着いたゲーム運びで振り切った聖カタリナが91-52で勝利し、決勝戦へと駒を進めた。

担当者: 松浦 正(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会



大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 28 女子 準決勝

期 日: 2016(H28)年10月29日(土)

主審: 二宮 誠

開始時間: 13:30

副審: 金谷 純代

終了時間: 15:00

<h1>新居浜商業</h1> <p>(東予)</p>	○ 93	15	—	9	● 50	<h1>大洲</h1> <p>(南予)</p>
		22	—	16		
		30	—	8		
		26	—	17		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	伊藤 沙南	6	2	0	0	3
5		橋本 芽依	5	1	1	0	0
6		沼口 愛菜	6	2	0	0	0
7		白石明日香	23	4	5	1	2
8		一鷹 侑加	2	0	1	0	1
9		山内 香穂	8	2	1	0	1
10	*	田村 滴	14	2	4	0	1
11		高地百合花	0	0	0	0	2
12	*	坂田 未来	19	2	6	1	3
13	*	田窪なつみ	0	0	0	0	2
14		松崎 菜波	1	0	0	1	1
15	*	山中 美来	7	1	2	0	3
16		村上 七海	0	0	0	0	0
17		黒川 結香	2	0	1	0	0
18		青野 友希	—	—	—	—	—
HC		窪田 夕子 / TEAM					—
		合計	93	16	21	3	19

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	清水 妃奈	6	0	2	2	2
5	*	山崎 紘佳	0	0	0	0	2
6		黒田 夏希	7	2	0	0	2
7	*	城本 優佳	14	0	3	8	0
8	*	福泉知早斗	5	1	1	0	0
9		石脇ほたる	2	0	1	0	0
10		森岡 芽生	2	0	0	2	1
11		木綱 優	—	—	—	—	—
12		松徳 美穂	0	0	0	0	0
13		白尾 愛実	0	0	0	0	0
14		毛利 菜月	—	—	—	—	—
15		宮岡 萌映	—	—	—	—	—
16		森岡佳菜恵	—	—	—	—	—
17	*	河野真菜佳	14	0	5	4	3
18		原田 愛結	—	—	—	—	—
HC		濱田 直義 / TEAM					—
		合計	50	3	12	17	10

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

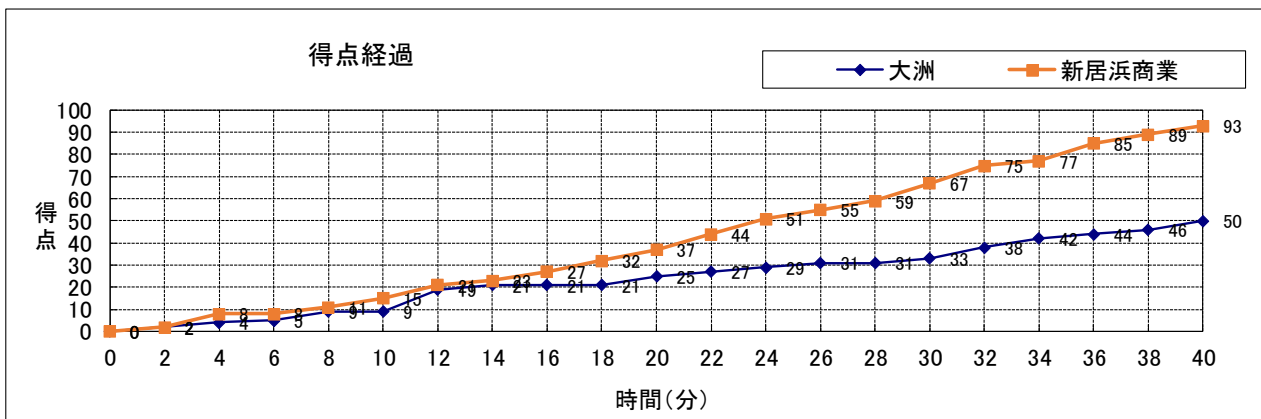
FT: フリースロー

F: ファウル

第1ピリオド、大洲は2-3ゾーン、新居浜商業はマンツーマンディフェンスでスタート。大洲は、厳しいディフェンスに対し、#4のドライブインや#17のインサイドで応戦。新居浜商業はゾーンに苦戦するも、#7、#15を中心に得点を重ね、9-15の新居浜商業リードで第1ピリオド終了。
 第2ピリオド、早々に大洲は#7のバスケットカウント、#6の3Pで点差を縮める。対する新居浜商業もアウトサイドシュートを決め、リードを守る。なんとか逆転の糸口を掴みたい大洲は残り6分でタイムアウト。しかし、新居浜商業の豊富な運動量が上回り、大洲はオフェンスでのミスが続く。これを機に、新居浜商業が流れに乗り、25-37の新居浜商業リードのまま前半終了。
 第3ピリオド、大洲はマンツーマンディフェンスに変更するものの、苦しい状況を打破することができない。#7、#17のインサイドで応戦するが、なかなか得点できない。一方、新居浜商業は、アウトサイドシュートを確実に決めていく。また、スティールやリバウンドからの速攻でさらに得点を伸ばし、一気に点差を広げる。33-67新居浜商業リードのまま第3ピリオド終了。
 第4ピリオド、大洲は再度2-3ゾーンへ。#4、#8のドライブインで加点に成功し、流れを引き戻そうとする。しかし、新居浜商業のアウトサイドシュートは止まらず、点差は縮まらない。交代して出場した選手も次々と得点を重ね、50-93で、新居浜商業が勝利し、決勝へ駒を進めた。

担当者: 野澤 武尊(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会



大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 29 女子 決勝

期 日: 2016(H28)年10月30日(日)

主審: 達川 友希

開始時間: 14:20

副審: 二宮 光司

終了時間: 15:50

聖カタリナ学園 (中予)	○ 75	16	—	14	● 51	新居浜商業 (東予)
		22	—	7		
		20	—	17		
		17	—	13		
		—	—	—		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岩佐 彩花	9	1	3	0	1
5	*	渡部 真衣	0	0	0	0	2
6	*	黒山 佳奈	15	1	6	0	4
7		安藤 母佳	0	0	0	0	0
8		山口 愛未	0	0	0	0	2
9		松本 真綾	0	0	0	0	0
10		小谷 果蓮	16	0	6	4	0
11		矢野 千晶	0	0	0	0	0
12	*	石原 柚香	19	3	3	4	0
13		西山 奈那	—	—	—	—	—
14		谷岡 安純	—	—	—	—	—
15		富永 紗代	—	—	—	—	—
16	*	梅木 千夏	16	0	6	4	1
17		森下 遥奈	—	—	—	—	—
18		鈴置 彩夏	—	—	—	—	—
HC		後藤 良太 / TEAM					—
		合計	75	5	24	12	10

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	伊藤 沙南	5	1	1	0	1
5		橋本 芽依	2	0	1	0	2
6		沼口 愛菜	—	—	—	—	—
7		白石明日香	14	2	4	0	2
8		一鷹 侑加	0	0	0	0	1
9		山内 香穂	—	—	—	—	—
10	*	田村 滴	2	0	1	0	2
11		高地百合花	—	—	—	—	—
12	*	坂田 未来	17	1	7	0	0
13	*	田窪なつみ	0	0	0	0	2
14		松崎 葉波	—	—	—	—	—
15	*	山中 美来	11	0	5	1	1
16		村上 七海	—	—	—	—	—
17		黒川 結香	—	—	—	—	—
18		青野 友希	—	—	—	—	—
HC		窪田 夕子 / TEAM					—
		合計	51	4	19	1	11

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

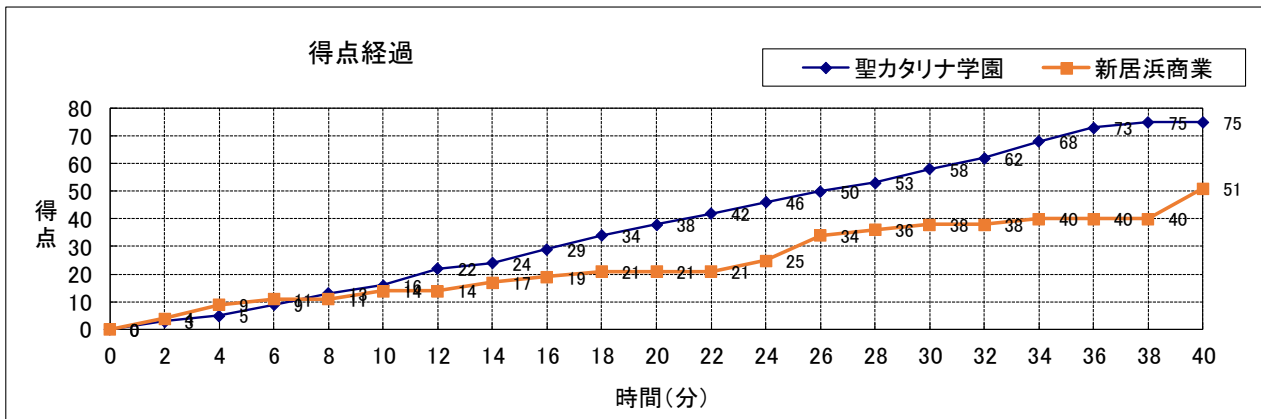
FT: フリースロー

F: ファウル

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤、新居浜商業が#15のドライブインや固いディフェンスからの速攻でリードする。しかし、聖カタリナも1対1を中心に徐々に得点する。残り2分となったところで聖カタリナがリードを奪い、新居浜商業タイムアウト。その後、一進一退の攻防となり16-14で第1ピリオド終了。
 第2ピリオド、高さに勝る聖カタリナは、#10・#6のインサイドを中心に攻撃し、徐々にリードを広げる。対する新居浜商業は、速いパス回しからチャンスを作り、#7の3Pなどで食い下がる。開始5分、聖カタリナ#12の3Pが決まり12点差となったところで、新居浜商業タイムアウト。新居浜商業は粘りを見せるが、点差はさらに開き、38-21で前半終了。
 第3ピリオド序盤、新居浜商業は、聖カタリナのディフェンスを崩しきれずリードが広がる。聖カタリナは、#10のインサイドや#12の3Pを中心に攻撃する。新居浜商業も、堅い守りからオフェンスにつなげ、#12のミドルシュートで反撃する。しかし、聖カタリナは、#12を中心に得点を重ね、58-38とリードが広がる。
 第4ピリオド、新居浜商業は、ボールマンにプレッシャーをかけボールを奪おうとするが、聖カタリナは巧みなオフェンスにより点差が広がる。終盤まで着実に得点した聖カタリナが、75-51で15年連続、22回目の優勝を果たした。最後まで諦めることなく足を動かし続けた新居浜商業の健闘も称えたい。

担当者: 岡本 繁幸(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会



大会名称: 平成28年度

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティーセンター体育館 Mコート

試合区分: No. 30 男子 決勝

期 日: 2016(H28)年10月30日(日)

主審: 相原 伸康

開始時間: 16:00

副審: 中井 将基

終了時間: 17:30

<p>松山工業</p> <p>(中予)</p>	<p>○</p> <p>58</p>	<p>13 - 14</p> <p>17 - 14</p> <p>10 - 13</p> <p>18 - 9</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>50</p>	<p>新田</p> <p>(中予)</p>
--------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	権藤 史也	2	0	1	0	1
5	*	東浦 元樹	16	0	8	0	2
6		早瀬 陽介	6	0	3	0	2
7	*	宮本 尋	16	3	3	1	1
8	*	萩野 一洋	10	0	5	0	0
9	*	佐伯 祐輔	8	0	3	2	0
10		亀岡 拓矢	-	-	-	-	-
11		松尾 優夢	-	-	-	-	-
12		菊池 雄太	-	-	-	-	-
13		仙波 洋人	-	-	-	-	-
14		高橋 聖太	-	-	-	-	-
15		青木龍之介	-	-	-	-	-
16		池内 亮太	-	-	-	-	-
17		曾我部鈴汰	-	-	-	-	-
18		藤岡 修也	-	-	-	-	-
HC		宮崎 智之 / TEAM					-
		合計	58	3	23	3	6

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	村上 勇斗	14	2	4	0	3
5		毛利 和樹	0	0	0	0	1
6	*	原本 樹	8	0	3	2	2
7	*	岡本 瞬	0	0	0	0	2
8	*	渡部 蒼	10	1	2	3	4
9		岡田 知紘	7	1	2	0	0
10		高野 翔馬	0	0	0	0	0
11	*	平 将輝	11	1	4	0	1
12		春園 秀人	-	-	-	-	-
13		丹下 希	-	-	-	-	-
14		塩田龍之介	-	-	-	-	-
15		中矢 夏樹	-	-	-	-	-
16		岡田 有夢	-	-	-	-	-
17		濱本 康成	-	-	-	-	-
18		高橋 祐也	-	-	-	-	-
HC		玉井 剛 / TEAM					-
		合計	50	5	15	5	13

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。松山工業は#7を中心に得点を重ねる。対する新田は、序盤こそ苦戦したが、アウトサイドシュートが決まりだし、流れを取り戻す。残り1分、新田#4のスティールからの速攻で逆転に成功し、13-14の新田リードで終了。

第2ピリオド、松山工業は#6、#9のアウトサイドシュートで加点する。一方新田は、#4の1対1や3Pで得点を伸ばす。一進一退の攻防が続く中、松山工業#5のドライブインと#7の3Pでリードを奪い、30-27と松山工業リードで前半終了。

第3ピリオド、両チームともディフェンスの手を緩めない。松山工業はシュートがリングに嫌われ、なかなか得点できない。残り3分、松山工業にミスが起きたところでタイムアウト。しかし、新田は#11がリング下で奮闘し流れを渡さない。その後、新田は#8のドライブインもあり、バランスよく得点を重ね、40-41の新田リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始早々に松山工業#5が連続得点する。また、#8が攻守ともに活躍を見せ得点を伸ばす。対する新田は松山工業の厳しいディフェンスに苦しみ、無得点の時間が続く。新田は#9の3Pをきっかけに流れを取り戻したかったが、松山工業の勢いは止まらず、58-50で松山工業が2年ぶり5回目の優勝を果たした。決勝戦にふさわしい、終始緊張感のある素晴らしい試合であった。

担当者: 小笠原 淳(愛媛県高体連)

愛媛県バスケットボール協会

